

みなさんの暮らしとつながっています。

はまだ議会だより mini

中心市街地の活性化事例を視察

10月22日から24日まで富山県へ視察に行きました。高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」ではコーディネーターが常駐し令和5年3月の開設以降の起業数が29件など実績の説明を受けました。また、御旅屋通り商店街の令和5年3月から令和5年11月までの毎月第3日曜日に開催されたマーケットは入込客数約2万人、出店数も240店あり、事業主体である「市街地活性化協議会」の組織的活動の成果として注目しました。富山市の地場もん屋運営事



業は1市4町2村合併後の全域の地場農産品が購入できるアンテナショップとして整備されました。集荷業務に対する補助金はあるものの独立採算で年間約3.7億円の売上で、出荷会員も459組と増加傾向とのことでした。市内外の地域間連携の推進や地産地消の推進の中心的な取組の参考事例となりました。詳細はこちらの二次元コードから「行政視察レポート」をご覧ください。（産業建設委員会）



より良い地域交通を目指して

10月24日に総務文教委員会はAIデマンド配車システムを利用した新しい乗合交通「チョイソコ」を運用している岡山県真庭市へ視察に行きました。「チョイソコ」は利用者のニーズを捉えた優れたシステムで予約システムにICTを活用しており導入に当たっては国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用したこと、利便性が優れている故に配

車が追い付かず予約が取れない課題点など参考となる事例を多く聞くことができました。現在、浜田市で運行されている乗合交通にも取り入れるべき部分もありますが伸ばしていくべき良い部分も確認できました。委員会として今後の活動や提言に反映したいと考えます。（総務文教委員会）

議員のつぶやき

“師走より春待月が…”

12月に入ると、一年最後の月ということで何となく気忙しい気がしてきます。忘年会やクリスマス、年の瀬の雰囲気はマスコミも一緒になって盛り上がります。ピークはクリスマス！大晦日までの一週間足らずで人々の意識が新春にシフトしていきます。その切り替えのすばらしさに「春待月」を感じます。
(西田清久)



議長 10/26 日誌 知音都市交流35周年記念式典

新潟県糸魚川市で開催された記念式典に出席しました。日本初の歌謡曲「カチューシャの唄」に携わられた偉人の出身地による民間主導の都市交流会の発足は「はまだ市民ララ会」のご尽力によるものです。また「シンペイ～歌こそすべて～」が先行上演され、島村抱月役は俳優の緒形直人さんが演じておられました。令和7年1月からの全国公開をぜひご鑑賞ください。



浜田市議会はSDGsを推進しています。